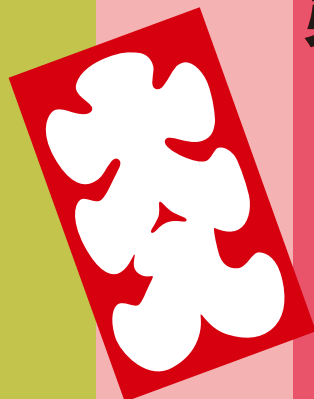




第397回みそか寄席

令和7年

とき 4月30日(水)

第1部：午後4時00分～

第2部：午後7時00分～

ところ おかげ横丁すし久

四月

みそか寄席

大喜利

桂文我

木挽茶屋

桂梅団治

野崎詣り

桂小文三

桃太郎

一部午後四時～

大喜利

桂文我

仔猫

桂梅団治

おごろもち盗人

桂小文三

色事根問

二部午後七時～

木戸銭 / 前売券 2,500円 当日券 3,000円

木戸銭は開催当日の会場受付にて頂戴いたします。

会場受付は、1部2部共に開演30分前より開始いたします。

前売受付/ おかげ横丁おみやげや (総合案内)

TEL0596-23-8838 <https://okageyokocho.com>

予約方法/

- ・おかげ横丁ホームページの予約サイトから
- ・「チケットぴあ」から
- ・おかげ横丁おみやげや(総合案内)へのお電話もしくはご来店
いただいでのご予約

主催/株式会社伊勢福 後援/伊勢市、伊勢市教育委員会

※会の性質上、中学生未満の方の入場はご遠慮いただいております。予めご了承ください。

※都合により内容が変更になる場合がございます。



みそか寄席



平成3年6月から始まった「みそか寄席」は、毎月末日のみそかに合わせて「すし久」にて開催している落語会。約30年間公演し、地元松阪出身 上方落語の桂文我さんを中心に、中堅・若手の噺家が多数出演しています。

本格的な古典落語や奇想天外な新作落語、ときには珍芸も飛び出し、会場は明るい笑い声で包まれます。

これまでの特別興行では、人間国宝桂米朝師をはじめ、三代目桂春團治師・五代目桂文枝師・桂枝雀師にご出演いただきました。

会場の「すし久」は、本格木造建築で、古き良き時代の寄席情緒たっぷりの中でお楽しみ頂けます。



桂 文我 かつら ぶんが

昭和35年 8月15日生まれ、三重県松阪市出身。昭和54年 3月、桂枝雀に入門。桂雀司を名乗る。平成7年 2月、四代目桂文我を襲名。

【落語活動】

現在、年間300回程の落語の高座をつとめる。大阪・東京・横浜・名古屋・京都・岡山・徳島をはじめ、各地で「桂文我独演会」「桂文我の会」を開催。また、子ども向きの落語会の「おやこ寄席」も各地で開催。

【その他の活動】

みえの国観光大使、松阪市ブランド大使。平成25年4月1日～相愛大学客員教授「上方落語論」講義を受け持つ。

桂 梅団治

かつら うめだんじ



生年月日：昭和 39 年 4 月 20 日

出身地：岡山県倉敷市

入門年月日：昭和55年「三代目桂春団治」

趣味：鉄道写真（撮り鉄・SL）

桂 小文三

かつら こぶんざ



生年月日：平成 3 年 11 月 18 日

出身地：大阪府東大阪市

入門年月日：平成 30 年 4 月 1 日「桂文三」

趣味：筋トレ

特技：野球（高校野球大阪大会 準優勝）、英会話（TOEIC780 点）

みそか寄席三百回達成記念本

伊勢内宮前 おかけ横丁
「みそか寄席」三百回達成
— 足かけ二十五年の軌跡 —

著者：四代目 桂文我

【定価】2,000円+税

みそか寄席は、平成28年5月をもちまして、丸25年300回を数えました。舞台裏の笑い話や苦労話はじめ、今だからこそ語れる当時の秘談などで300回の歴史を辿るエピソード満載の一冊です。

おかけ横丁について

おかけ横丁は、入口にある大きな常夜燈が目印の50余りのお店が軒を連ねるひとつの町です。

第61回神宮式年遷宮の年、1993年（平成5年）7月16日に、伊勢神宮内宮の鳥居前「おはらい町」の中ほどにできました。

季節ごとの催し、伊勢路の建物の意匠と風景、こだわって選び抜いた特産品や伊勢土産、郷土料理、紙芝居や太鼓の演奏など、訪れる人に楽しんで頂いております。

